

2020年4月14日

京都市長 門川大作様

子ども医療費無料化を早急に求める要請書

子ども医療費無料制度を国と自治体に求める京都ネットワーク

代表 鈴木 卓（京都府保険医協会理事長）

昨年9月より京都府が子ども医療費の助成制度を、従来の通院月3000円までの自己負担を1500円までに拡充しました。これをうけて長岡京市と亀岡市は上乗せで通院200円の対象年齢を中学校卒業まで引き上げました。京都市は府市協調を唱えるばかりで、府に上乗せした拡充に踏み切っていないため、府内では京都市だけが通院200円の対象が2歳までという遅れた水準のままとなっています。

このため、2月に行われた京都市長選挙でも、市民の願いを反映して争点の一つとして立候補者3人のうち2人が中学卒業までの無料化を訴えました。貴職も「誰ひとり取り残さないSDGsを推進」するとして「助成をさらに拡充」と発言されています。

子育ての経済負担を軽減し、障害のある子ども、家庭に困難を抱える子ども、お金の心配をせずに等しくすべての子どもの命と健康を守り、発達の可能性を伸ばすためには、中学校卒業までの子どもの医療費の無償化は真っ先にとりくむべき課題です。京都市が「子育て環境日本一」を謳うならば、一刻も早く府内最低レベルを脱するよう、独自の上乗せにより、所得制限なしで義務教育までの医療費を通院も無料に拡充することを求めます。

子ども医療費無料制度を国と自治体に求める京都ネットワーク

事務局団体：京都府保険医協会／京都府歯科保険医協会／新日本婦人の会京都府本部
京都民主医療機関連合会／京都社会保障推進協議会／京都保育団体連絡会
（京都府保険医協会 担当：浜松 章）
京都市中京区七観音町 637 インターワンプレイス烏丸6階 TEL 075-212-8877